

# 議会運営委員会報告書

令和3年10月19日

備前市議会議長 守井秀龍様

委員長 土器 豊

令和3年10月19日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

## 記

案 件	調査結果	備 考
1 議長の諮問に関する事項についての調査研究 ① 今年度の委員会行政視察について ② 議会報告会について ③ 議員研修会について	継続調査	—

## <報告事項>

- 政治分野におけるハラスメント事例調査（内閣府）への協力依頼について



## 議会運営委員会記録

招集日時	令和3年10月19日（火）		午後1時30分	
開議・閉議	午後1時28分	開会　～	午後3時02分	閉会
場所・形態	委員会室	閉会中の開催		
出席委員	委員長	土器　豊	副委員長	森本洋子
	委員	中西裕康		尾川直行
		石原和人		青山孝樹
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	守井秀龍	副議長	掛谷　繁
傍聴者	議員	なし		
	報道	なし		
	一般	なし		
説明員	議会事務局長	入江章行	議会事務局次長	石村享平
	庶務調査係長	坂本　寛	議事係主任	楠戸祐介
審査記録	次のとおり			

## 午後1時28分 開会

○土器委員長 皆さん、こんにちは。

ただいまの御出席は6名でございます。定足数に達しておりますので、これより議会運営委員会を開催いたします。

直ちに議事に入ります。

1番、議長の諮問に関する事項についての調査研究。①今年度の委員会行政視察について。これは各会派に持って帰って、今日返事をしていただくようになっていたかと思っておりますので、順番にお願いします。

○尾川委員 よう検討していないんですけど、何らかの形で県内ぐらいはやったほうがええんじゃないかと思うんです。例えば倉敷市議会のBCPの資料があるんで、最悪の場合はZoomでもやったらええんじゃないかなという感じです。

○青山委員 コロナが落ち着いてはきておるんですが、今後またどうなるか分からない不透明なところがあります。ちょっと今年度は無理じゃないかという話をしました。昨年度もこの行政視察の予算については返納すると、コロナ対策に使っていただくというようなことでよろしいんじゃないかと思っております。

○石原委員 結論で申しますと、今年度は昨年度同様、常任委員会としての視察は取りやめると。併せて、計上されている予算については減額をするということで、会派では話しました。

○中西委員 今年度ももう少なくなってきましたし、期間も短いということで、コロナの今後の感染も含めて考えれば、委員会視察は中止にしておく、同時に、危機管理においてやっぱり大切なのは、早めに判断し決断をするということが私は大切だと思うんです。そういう意味での早く減額措置をしてあげて、僅かな金額かも分かりませんが、コロナ対策に使ってほしいということを議会としてもきっちりプロフェスしていくことが、大切じゃないかと思っております。

○森本副委員長 こういうときですから、県外視察は大変厳しいと思っております。ただ、さっき尾川委員が言われたように、Zoomで検討されているところもあったりしたりするので、その点は考えてみてもいいのではないかとはい思います。

○土器委員長 ありがとうございます。

私の会派も、昨年同様、やっぱり早めに中止という形で対応したほうがいいのではなからうかとなりました。ということで報告しときます。

また、これを決めにやいけないんですね。もうちょっと、今、大多数の方が今年度も中止という話。それからもう一つは、県内ぐらいいないんじゃないかという意見が出ています。これはやはりもう一回話し合いをしていただけたらと思います。

○中西委員 ここに事務局からの資料も出ていますし、議員の委員会視察、併せて随行の費用も含めてどのくらいになるのか、事務局から少しお話をお聞かせ願えたらと思います。

○坂本庶務調査係長 委員会視察に係ります予算の状況を御説明いたします。

委員会視察の調査旅費といたしましては、議員さんの旅費180万円、随行旅費としまして45万円、トータルで225万円となっております。

○入江議会事務局長 令和3年10月の時点で、市議会事業等の実施意向調査についてまとめましたので、今回お出ししておりますので、この調査結果について御説明させていただきます。

調査は、お約束しておったとおり局長会でとも思ったんですが、細部にわたるところが若干ありましたので、後ほどメールで照会させていただいて、このほどまとめたものでございます。

まず、設問の1は、常任委員会の視察を実施されますか、ただし年度内、令和3年度中はどうですかと聞いております。調査2としては、それを実施しない場合、該当予算をどうされますか。調査3として、これはこの場で御報告するのは何なんですが、議会報告会もどうされますか、年度内はというような調査にさせていただきました。各市から回答はいただいたんですが、未定あるいは該当なしというお答えも多いです。

倉敷市さんなんかが一番最たるものというか、未定、未定、該当なし、そういう話なんですが、特記事項に興味深いところがありまして、現在は行政視察の受入れは自粛をしております。受けません。ただ、委員会視察を実施するよりも前に、受入れの自粛を解くことが先決である、その時期について検討中ですということで特記事項に書いていただきましたので、なるほどなど。同じようなのが新見市にもございました。

これ、一覧表になっていきますので、まず調査1については、まとめますと、県内等の期限付で実施するというのが1市、実施の是非を今後検討していく、検討したいというのが3市、今年度は実施しないというのが4市、計8市、あとは未定、該当なしというものでございました。

その予算についての項目、調査2になります。減額措置をする、あるいはしたというところが1市、今後検討する、検討したいが2市、減額措置は行わないのが2市、あとは未定でございます。

諮問事項としての調査事項はこれまでなんですが、調査はもう一つあったので、これも併せてお知らせいたします。

議会報告会を年度内に実施しますかという答えについては若干割れていまして、従前どおり実施するのが1市、一定の制限をして実施する、実施したいが1市、これから実施是非を検討する、検討したいのが1市、実施は今年度しないのが6市、あとは未定、該当なし。そもそもやっていないところもあります。そういうところでございます。

○尾川委員 この資料は、いつ頃まとめたん。

○入江議会事務局長 照会をかけたのが10月2日前後です。15日の締切りで回答をいただきまして、それからまとめたものでございます。

○尾川委員 いつできたん。

○入江議会事務局長 15日です。

○尾川委員 だから、その15日が、今日は19日じゃな。そこで考え方じゃけど、その資料と

いうのが出なんだんかなということを書いてえわけじゃ。せっかく作っとなだったら、一つの資料として前に出して、それこそ説明してくれときゃええんじゃねえんかって、ぼやきじゃけど。

○入江議会事務局長 分かりました。

○土器委員長 結論を出さにゃいけないんですけど。一応大多数の方が視察は中止、そして予算は返還という形でよろしいですか。

○石原委員 そのとおりで、僕は委員長が言われたのに賛同なんですけど、ここではいろいろ県内全市へ当たっていただいて、大変な調査をお願いしたところでありますけれども、せっかく出とるここの高梁市さんでいえば実施しない、それから減額措置を既にしたのか、これからされるのかですけれども、特記事項欄に一部委員会ではリモートの視察研修を検討中とのことでしたので、これなどは先ほど尾川委員、また森本副委員長が言われたようなことにも対応し得るのかなと。減額をしても、こういうことは取り組めるのかなというところで、参考にもなりました。高梁市さんの状況もまた必要性が出てくれば研究していければと思いました。

○土器委員長 それでは、今年度の行政視察は中止、そして予算については返還ということでもよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、そのようにさせていただきます。

○中西委員 減額措置をするわけですが、やはり先ほどの180万円あるいは45万円、合わせて225万円については、コロナ関連の予算措置に使っていただきたいという願いはしておいてもよろしいんじゃないかと思います。

○土器委員長 分かりました。そういう形で、コロナ関係に使っていただきたいということを議長から申し入れていただいたらと思います。よろしくお願いします。

それでは、②議会報告会について。それぞれ会派で検討されたかと思しますので、順にお願いします。

○尾川委員 テーマを決めて、アンケートで市民意識調査みたいになりますけど、やはり市民から直接議会活動について意見を聞くというスタンスは崩さんほうがええと思います。

ですから、11月の広報を配るときに併せて、テーマを決めて配布して、どのくらい回答があるかは別にして、市民からの意見を聴取すべきだと思います。

○青山委員 私も何らかの市民の意見あるいは質問等を受けるような、そういう場というのは必要かと思うんですが、全体に流すのか、あるいはもうちょっと絞って、今まで来てくださった人とかというふうな形で流すのか、その辺は検討したいなと思っています。

○石原委員 意見聴取のことかと思いますが、議会報告会をするしないにかかわらず、これもインターネットをされる方になりますか、常に議会事務局のホームページを開けば、連絡先とそれからメールの問合せ、メールの方はこちらへどうぞみたいな案内も常にあって、1,000文字以内ですか、何か意見をどうぞというようなところもあって、議会報告会は中止にさせていただ

きます、併せて意見がある方はどうぞといった案内もええんでしょうけど、それから1つ思いますのは、傍聴もしばらく自粛のお願いにはなっていますが、割と大勢お見えになられて、生で議会の傍聴いただいとる状況なんですけれども、せっかく来られた方にも、議会を間近で見られて聞かれての感想であったり、議員の発言であったりというようなところを、何らかの形でアンケート調査に御協力をお願いして、議会に対しての御意見をいただく機会にもなり得るのかなという思いはしながら、大勢来られる傍聴の方を見ながら感じてはおります。

これまでのいろんな形、電話であったりメールであったり、御自由に意見等をお寄せいただく機会は引き続き置いとくとして、1つやり方としてはそういうこともあり得るのじゃないかなという思いでおります。

**○中西委員** 私も何らかの形で市民の皆さんの意見が聞けるといいなと思っています。前回、広く市民全般にわたって意見をお伺いするという仕組みをつくってお願いをしたわけですが、そんなに大きな数ではなかったと。事務局の御苦勞の割には大変だったなと思うんですが、私も今の石原委員のお話を伺っていて、この議会に傍聴に来られた方にひとつ絞って話を、議員の話や、あるいは様々なサービス面も含めて、コロナで議場の中へ入れず、その通路で話を聞いていただいた方、私はやっぱり委員会室のほうがいいのかなというような感じで思いながら見ていたんですけども、そういうことも含めて、あるいは議会の議員の発言の中身もどうなのか、そういうやり取りをやっぱり平場の各町内でやってほしいというようなことも含めて、広く伺ってはどうかかなと。

どうなのでしょう。6月定例あるいは8月定例、かなりの方の傍聴がおありだったと。傍聴に来られた方にアンケートを書いていただくには、かなり回収率も、あるいは事務局の御苦勞も少し和らぐんじゃないかというようなところで、伺ってみてはどうかかなと。

私も今まで来られた方の話を伺ってみますと、やっぱり傍聴席の音が聞き取りにくいというような御意見もあったり、前だったらイヤホンがあったんですね。というようなこととか、あるいは議員の話の中も難しい話があって分からなかったとか、いろいろ言われてますんで、まずそういうところを少し、12月あるいは2月ぐらいやってみてはどうかかなと。

私たちの任期もあと僅かになってきていますので、そういう意味では、事務局の負担にならないようにということも含めた上で、この新しい庁舎になって、議会あるいは議場のサービス面も含めて、1回お伺いをしてまとめてみたらどうかかなと思います。

**○森本副委員長** 前回もお話はしたんですけど、今回はテーマを決めて、意見聴取りアンケートを行っていく方向でお願いをしたいと思います。

ただ、先ほどもあったんですけど、今回は全市民に配ったわけなんですけれども、関係団体とかテーマによっては絞って出してもいいかなという話が出たんですけども、議会が行うアンケートですから、市民の方と一緒に取り組めるように、建設的な意見ができるようなアンケートだと思います。

○土器委員長 ありがとうございます。

では、私から。

議会報告会なんですけど、以前視察に行ったときに、議員さんが2人おって、市民からの意見を聞きよったんです。ですから、1日、10時から3時頃まで議員さん16人全員出とって、市民が来たら、2人ずつ市民から直接いろいろな意見を聞いたらいいいんではなからうかなと思いました。

それで、今度はまとめです。それぞれ意見を皆さん言われたんですが、この中で石原委員と中西委員が似たような意見だったと思うんです。その辺についてももう一度皆さん話合いしてもらって、どういうやり方をするか話合いして決めていきたいと思しますので、よろしくお願ひします。

休憩いたします。

午後1時51分 休憩

午後2時33分 再開

○土器委員長 議会運営委員会を再開します。

暫時休憩します。

午後2時33分 休憩

午後2時44分 再開

○土器委員長 委員会を再開します。

議長から提案をお願いします。

○守井議長 先ほど、定例会における傍聴の際にはアンケートを聞いたらという問題がございましたけれども、会派に持ち帰っていただいて、各会派で御意見をお伺いして、再度議会運営委員会で決定していただけたらと思います。

もう一つには、11月の議会報告会の中止については、この文面に書いてあるとおり、今後、市民の皆さんへの報告会とは別に、御意見をいただく方法を検討してまいりますという表現でございますので、今日も御意見をいただきましたけれども、会派へ持ち帰っていただいて、再度御検討いただいて、議会運営委員会で判断していただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

○土器委員長 今議長から提案があつたんですが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、よろしくお願ひします。

次へ行きます。

議員研修会について。司会等は決まっているんですが、準備等について話合いしていただけたらと思います。

○守井議長 議員研修会については、皆さん御存じのとおり11月5日で予定しておると思ひます。それは随時進めておるといふようなことで、御協力のほどよろしくお願ひしたいということ

で。

もう一つ、皆さん方のお手元に、倉敷市議会BCPという資料を出しておられると思うんですけども、危機管理ですね、業務継続計画、これを皆さん方で御検討いただきたいということで、そういう意味での議員研修会という意味のようでございますので、これについても各会派に持って帰っていただいて、どういう形がいいんかというのを相談していただけたらありがたいと思っております。

補足で事務局から説明させていただきますので、よろしく申し上げます。

**○石村議会事務局次長** BCPの補足ではありませんが、11月5日の研修会につきましては、日本大学の林紀行准教授に御講演をいただくこととなっております。議会基本条例の評価についてということで、昨年に続いて御講演をいただくんですが、昨年の講演の中で議員間討議、それからBCPについては、それぞれこういった体験をしてみてもどうでしょうかという御提案をいただいて、議員間討議については全員協議会で話し合うということをやってみました。それから、BCPについては、倉敷市議会さんなどを参考に研究してはいかがかという御提案をいただいたんですが、ここまでなかなかそれできておりませんで、少し前の議運なんですが、倉敷市議会で作成されたBCPについては一度配付をしてほしいという委員さんからの御依頼もございましたので、本日、ホームページから入手したものを配付させていただいております。

**○中西委員** そのBCPについて会派で議論をしてくれということなんですけども、これはどういうふうに議論すればいいですか。

**○守井議長** これを一つの参考例として、もっと具体的にこういう例があればいいとかというのがあれば、参考に出していただければよろしいですし、これを改良していけばいいんじゃないかという御提案があれば、そういう形で検討するという形でございます。できれば備前市議会としてのBCPの成案ができれば、一番ありがたいと思っております。

**○中西委員** これはなかなか難しいところで、中を読んでみますとね。何らあまり基本的な情報のないところで議論をするというのは、なかなか難しいんじゃないかと。一定の研修があって、そして議論ができるんじゃないかなと。かなり奥深いところがあると思うので、ちょっとこれを会派に持って帰って議論をしろと言われても、ちょっと議論ができないんじゃないかなと思うんですけど。

**○守井議長** 問題提起という形で、こういう問題もあるということを考えていただいて、また今後、私のほうでも考えまして、皆さんに提案するという格好で進めていきたいと思っております。取りあえずは、こういうことも検討していただきたいというようなことをお含みおきいただけたらと思います。

例えば仮の案がこういう形であつたらいいんじゃないかなというのが、もしお示しをできるような形であれば、させていただきたいと思っておりますし、皆さん方がこれについての研修会も

開いたほうがいいんじゃないかということであれば、また検討していけばいいと思います。

○**青山委員** 私、以前にこの議会でBCPを研修、研究したらいいんじゃないかという提案もさせていただきました。ここに詳しい倉敷の内容があって、大変参考になるんですけど、果たしてそれが備前の条件についてどういうふうにやったらいいかなというふうなことで、この倉敷市のものをたたき台にしてつくる以前のところで、もう少し共通の理解が図れたらいいのかな。このBCPというのをつくるという意義なり、そういったようなところについては会派のほうで話をして、こういう参考例があるんだということでは話をしたいというふうに思います。

○**森本副委員長** BCPを策定されているところのお話なりを伺う機会があれば、そういう研修会、行くのはあれでしょうから、Zoomなりでもしてくださるところがあれば、一度議員は研修を受けてもいいかなと思うんですけど、議長、いかがです。

○**守井議長** 検討してみましょう。

〔「お願いします」と森本副委員長発言する〕

○**土器委員長** 議員研修会についてはよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

では、次、報告事項について、事務局お願いします。

○**石村議会事務局次長** 本日お手元に、令和3年度政治分野におけるハラスメント防止研修教材の作成に当たってのハラスメント事例調査という調査票を配付させていただいております。内閣府において、令和3年度事業として、各議会等におけるハラスメント防止研修の際に活用する教材を作成することとなっているようでして、教材の作成に当たって当該調査を実施することとなったため、内閣府から議会事務局を通じて協力依頼があったものでございます。

調査の担当は内閣府男女共同参画局となっております。調査票は配付のとおりでございます。調査票の下段の枠内にありますURLもしくはQRコードから回答フォームにアクセスをいただいで、記載例にありますようなハラスメント例があれば記述をいただくものとなっております。御協力方よろしくお願ひいたします。

○**土器委員長** よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

その他報告事項ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

では、その他。

○**中西委員** 今年度の委員会行政視察については、180万円と随行45万円、225万円を減額するということなわけですけども、正副議長の出張あるいはその随行とかいうものは、減額になるんかならないのかということなんですけど。

○**坂本庶務調査係長** 現在の予算の執行状況だけ申し上げます。

正副議長の出張旅費につきましては、当初予算額が36万円あります。執行済みが約5,00

0円、今後の執行見込みが15万円ほどございますので、上半期5,000円ほどの執行で済んでおりまして、予算残としましては、見込みになりますけれども20万円ぐらいは余るのではないか。それから、その随行旅費につきましても同額になってございます。

それから、事務局職員の研修旅費というものがございまして、これも全て中止になっている関係上、19万5,000円は削減できるのではないかと事務局では考えております。

○中西委員 そうなると、多少そういうところも減額になるのでしょうか。あるいは、ほかのところでまた増額補正をしなければいけないというところも出てくるのでしょうか。

○坂本庶務調査係長 現時点で申しますと、この旅費につきましては、今の合計が約60万円ということにはなります。それから、毎年のことではあるんですけども、ここ数年、会議録、委員会録の費用を年度途中において増額補正をしている状況です。そこが増額になるかどうかということは結論が出ておりませんが、今それについて随時計算をしているという状況です。

○中西委員 コロナに関わる議会としての対応ということでは、これで大体予算的には今までのところで執行しているというふうに思ってもよろしいでしょうか。

○入江議会事務局長 議会独自の予算で、これはまだ局長限りかもしれませんが、機材については、用意ができたものと思っております。例えば時間無制限のウェブ会議システム料とかというのは、議会でもあってもいいのかなと、いや、そこまでは必要ないのかな。市では持っているんで、それをお借りしたらできるので、そういう類いなものですから、具体的に腹案を持っている状態ではありません。総務費その他で用意ができたので、議会費で改めて予算化をするようなことはないだろうという心積もりです。

○中西委員 議会報告会のときに少し出ていました無線のルーターとか、あるいは周辺機器、そういうものが必要になるかも分からないというお話があったんですけど、それも市のほうで大体そろえているから、それを借りればいいと考えればよろしいですか。

○入江議会事務局長 おっしゃるとおりです。

○中西委員 だとすれば、例えば高梁市さんとかほかのところでオンラインによる視察だとか、あるいは議会報告会も、通信環境のないところでも会議をすることができるというベースは整っているということなんでしょうか。

○坂本庶務調査係長 デジタル推進課のほうでポケットWi-Fiというものを備え付けております。今年度整備したのになりますけれども、それが複数あって借り受け可能と聞いております。

それから、先ほどもありました長時間いけるZoomのライセンスの問題なんですけれども、最近もう一つ追加をしたと聞いております。そういう状況です。

〔「ありがとうございます」と中西委員発言する〕

○土器委員長 交代してください。

〔委員長交代〕

○森本副委員長 委員長を交代します。

○土器委員長 休憩時間に出たんですけど、常任委員会ですね、諸団体との懇談、意見交換会ができれば、1回ぐらいしたらと思うんですが、以上です。

○森本副委員長 委員長を交代します。

〔委員長交代〕

○土器委員長 じゃあ、その他ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で議会運営委員会を閉会いたします。

午後3時02分 閉会